



# Azure DevOps Server 2019 を使用したバージョン管理 Magic xpa 4.6 / 3.x 補足資料

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社  
2021年1月15日

本ドキュメントは、Magic xpa 4.6 / 3.x で Azure DevOps Server 2019(以下 DevOps)を使用したバージョン管理の補足資料です。TFS2017 以下との違い、及び注意事項等について記載されたものです

各章の番号は、「[Microsoft Team Foundation Server を使用したバージョン管理](#)」の各章の番号に合わせたものです。

## 目次

Azure DevOps Server 2019 を使用したバージョン管理 Magic xpa 4.6 / 3.x 補足資料 .....	1
3. インストール .....	2
参考サイト .....	2
3.1 前提ソフトウェアのインストール .....	2
3.2 DevOps のインストール .....	2
3.4 DevOps チームプロジェクトの作成 .....	11
6.2.1 プログラムリポジトリ全体のチェックアウト .....	16
8. ワークスペースについて .....	17
9. トラブルシューティング .....	18
9.1 クライアントから接続できない。 .....	18
9.2 「サーバから開く」処理で、クライアントにプロジェクトを作成する際、エラーが発生する。 .....	18
9.3 プログラムリポジトリに「プログラムソースが見つかりません。」の行がある。 .....	18
9.4 クライアントのプロジェクトフォルダを移動すると、DevOps サーバと正しくバージョン管理できなくなる。 .....	18
9.5 「プロジェクトの除外」を行ったプロジェクトに対して、Team Explorer からプロジェクトフォルダを削除すると、クライアント上の物理的なプロジェクトも削除される。 .....	20

## 改訂履歴

2018年8月24日 初版 Team Foundation Server 2018 対応  
2021年1月15日 第2版 Azure DevOps Server 2019 対応

### 3. インストール

#### 参考サイト

##### リリースノート(英語サイト)

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/server/release-notes/azuredevops2019u1?view=azure-devops>

##### システム要件(英語サイト)

<https://docs.microsoft.com/en-us/azure/devops/server/requirements?view=azure-devops-2020>

##### バージョン管理システムの利用について(英語サイト)

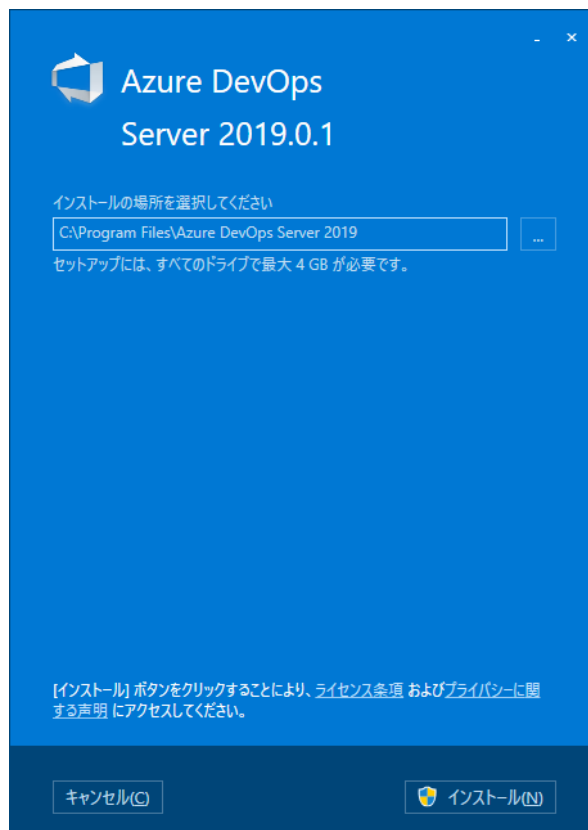
<https://docs.microsoft.com/ja-jp/azure/devops/repos/tfvc/what-is-tfvc?view=azure-devops>

#### 3.1 前提ソフトウェアのインストール

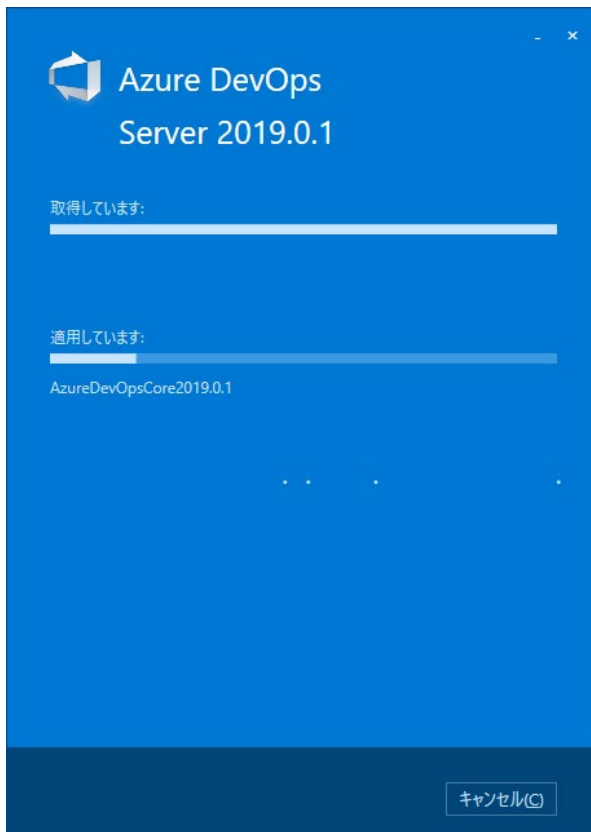
IIS も.NET3.5 も予めインストールしておく必要はありません。  
IIS は DevOps のサーバ構成の過程でインストールされます。

#### 3.2 DevOps のインストール

インストーラを起動します。

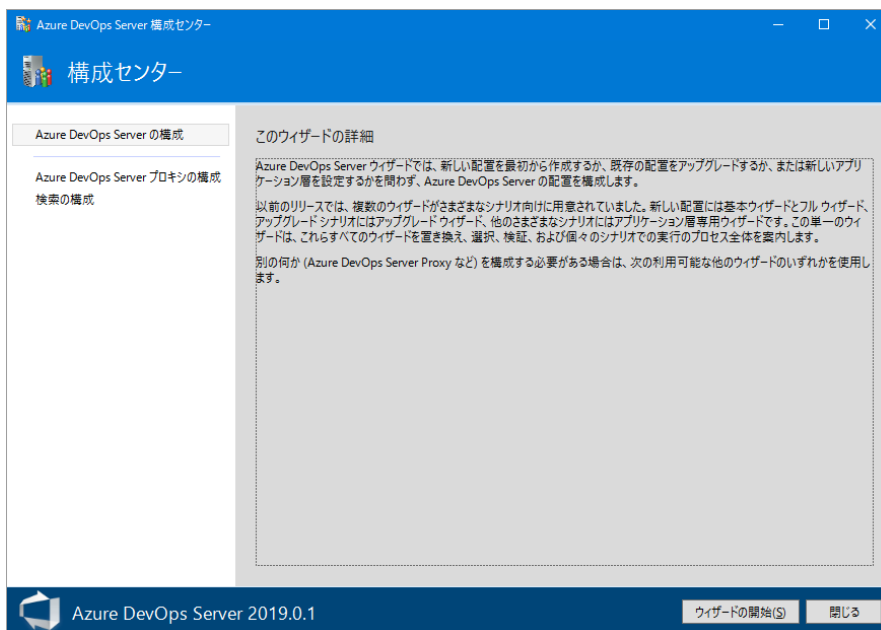


インストールボタンをクリックすると、インストールが開始されます。

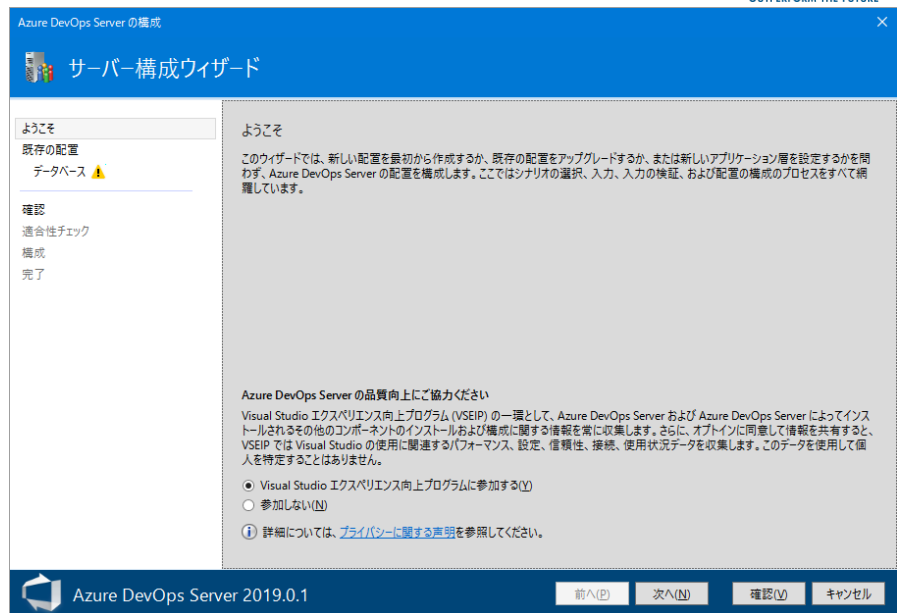


「ウィザードの開始」をクリックします。

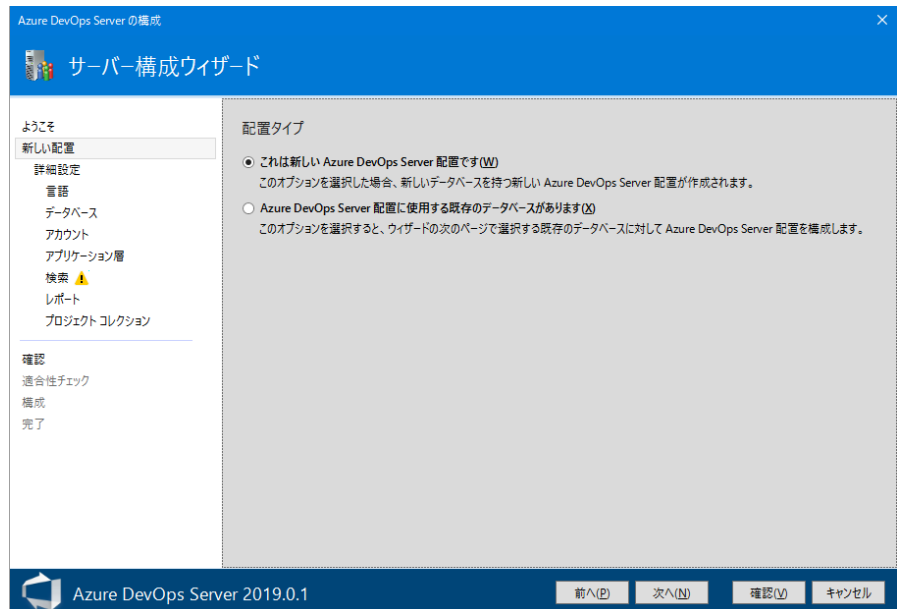
※マシンによっては「今すぐ再起動」の画面が表示されます。この場合、マシンを再起動してログオンすると、「Azure DevOps Server 構成センター」の初期画面が表示されます。



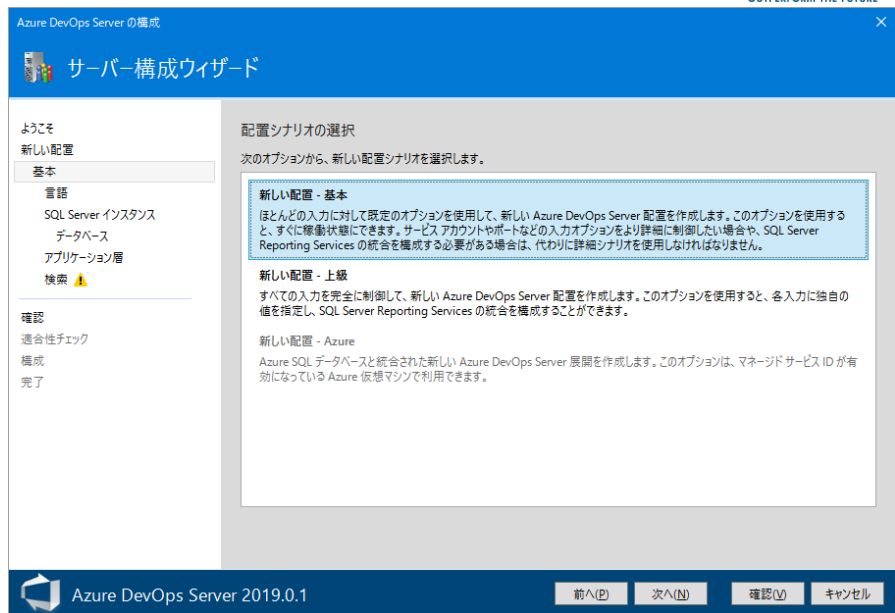
「次へ」をクリックします。



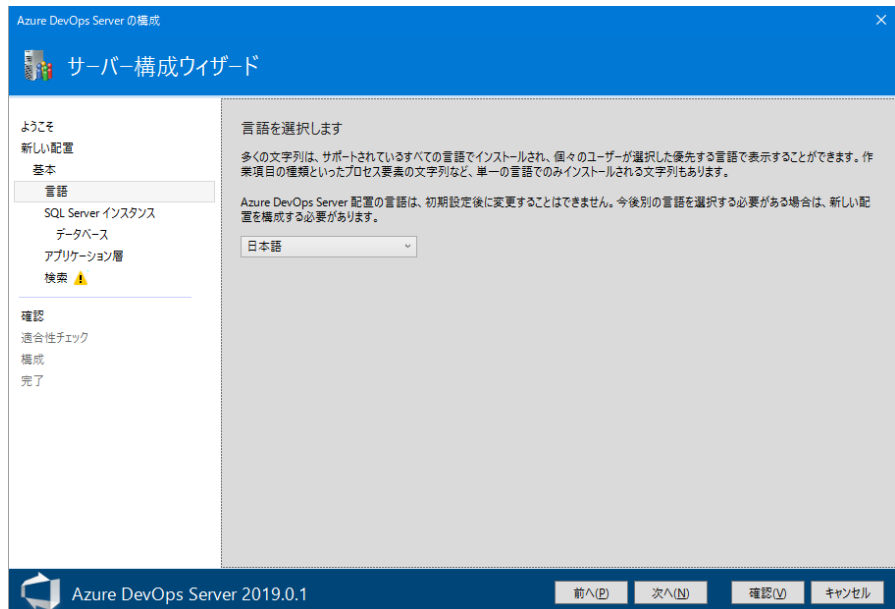
新規のインストールでは上のボタンを選択、以前の DevOps、または TFS のデータベースがある場合は下のボタンを選択して、「次へ」をクリックします。ここでは、上の「これは新しい Azure DevOps Server 配置です。」で先に進めます。



標準のセットアップを行う場合は上の選択肢、カスタマイズが必要な設定の場合は下の選択肢を選択して「次へ」をクリックします。  
ここでは、上の「新しい配置-基本」で進めます。

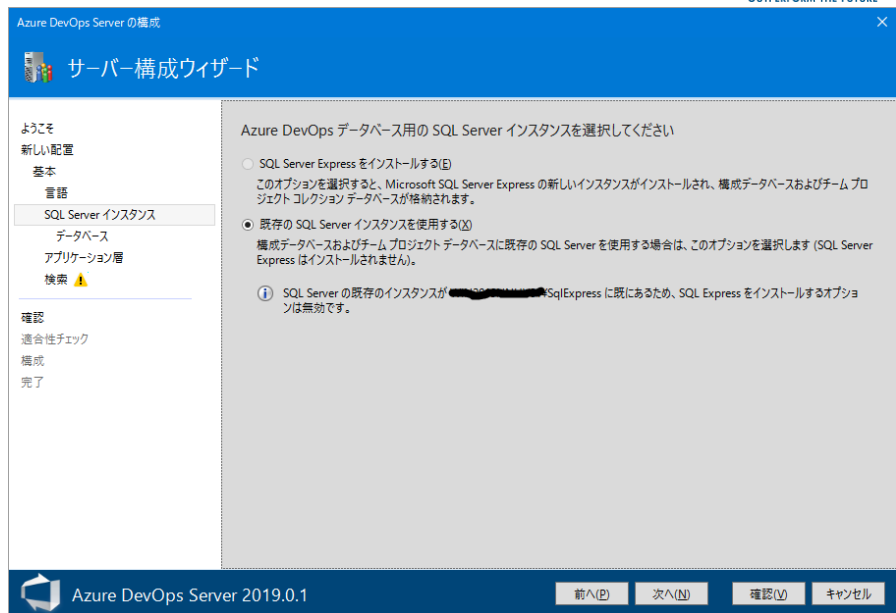


言語は「日本語」で「次へ」をクリックします。

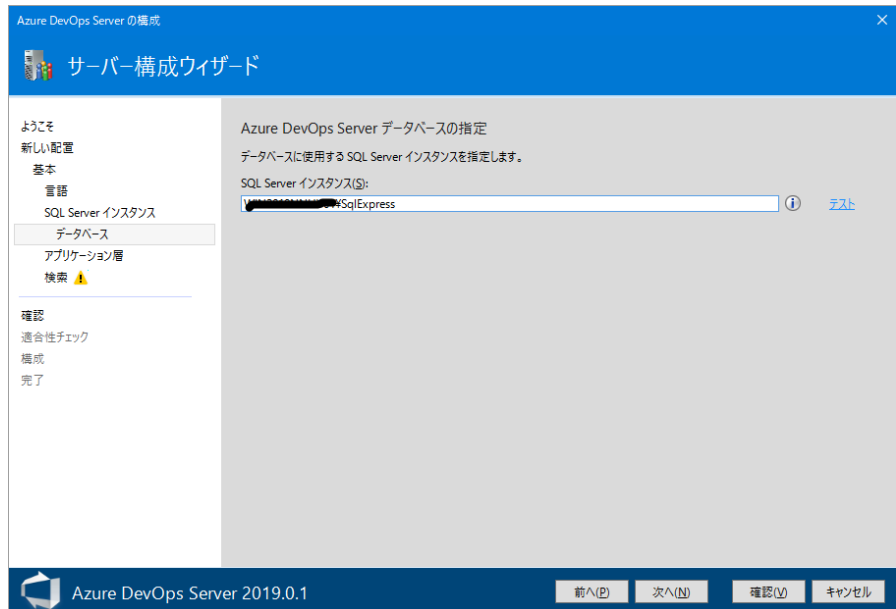


SQL Server がインストールされていなければ上のボタン、既にインストール済みであれば下のボタンを選択します。

ここでは、下の「既存のインスタンスを使用」を選択して、「次へ」をクリックします。

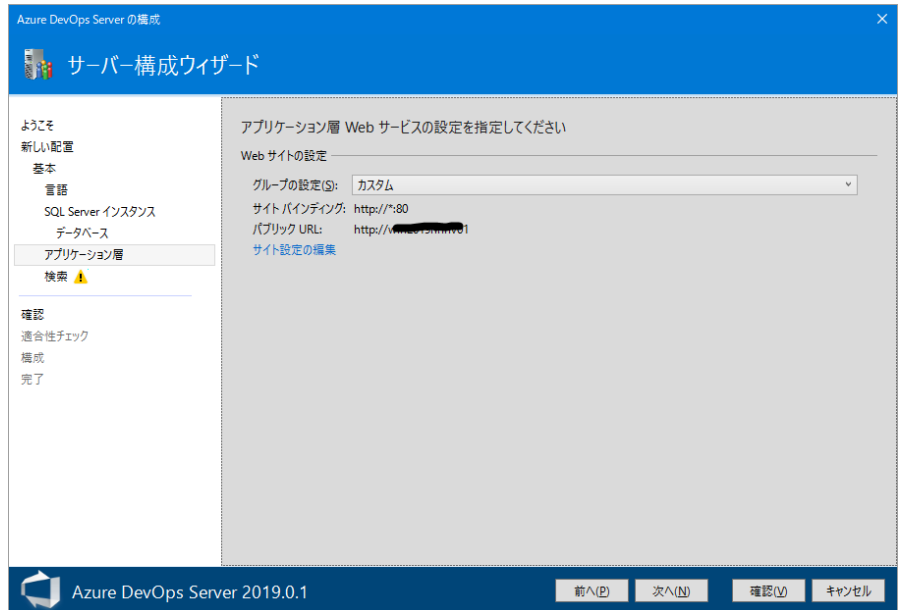


既存 SQL Server の場合、データベースのインスタンスを指定します。

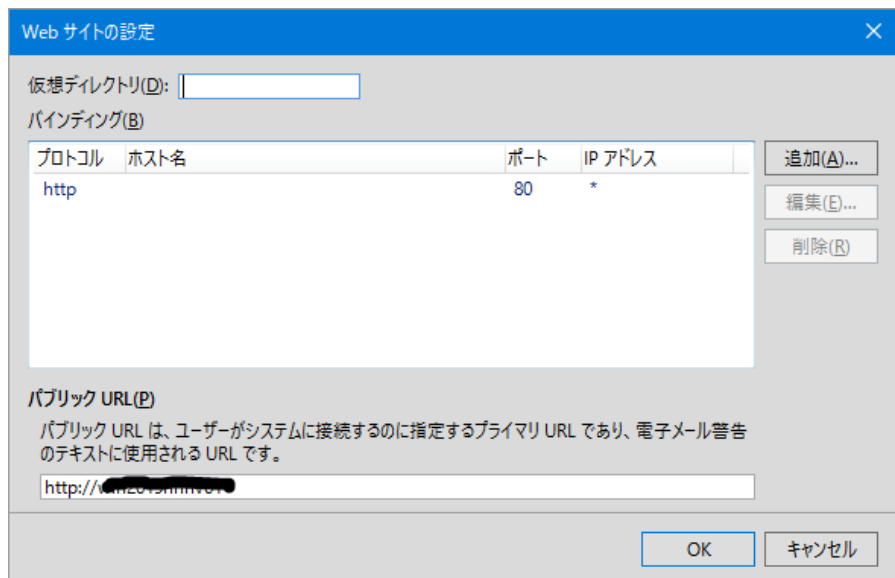


DevOps のチームプロジェクトの作成やユーザの追加等、チームプロジェクト全般の管理を行う IIS の設定です。  
新規の IIS の場合、「次へ」をクリックします。

このマシン上の他のアプリで IIS を利用している場合、「サイト設定の編集」をクリックして、仮想ディレクトリの変更や新規のサイトを設定します。

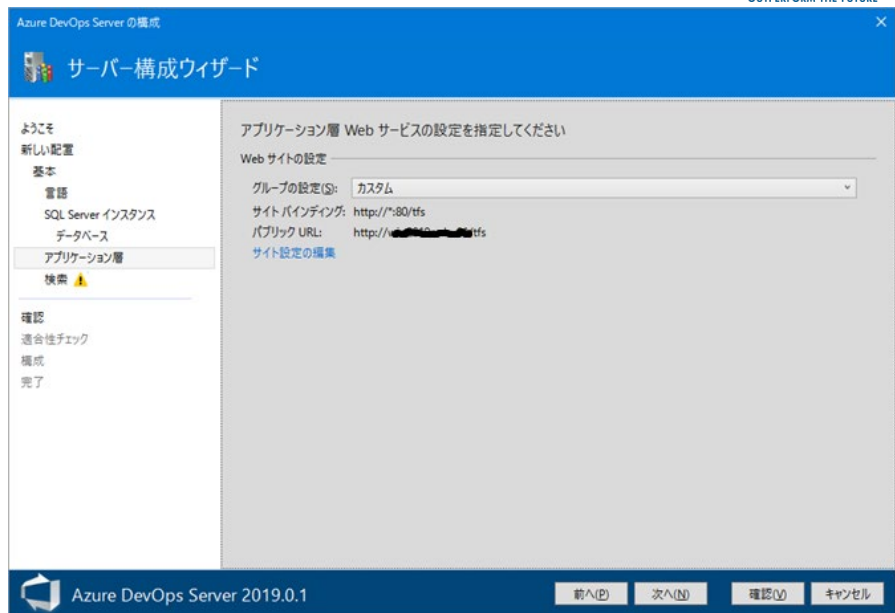


「サイト設定の編集」を行う場合、「仮想ディレクトリ」を設定するか、「編集」ボタンを押下して、ポートを変更します。



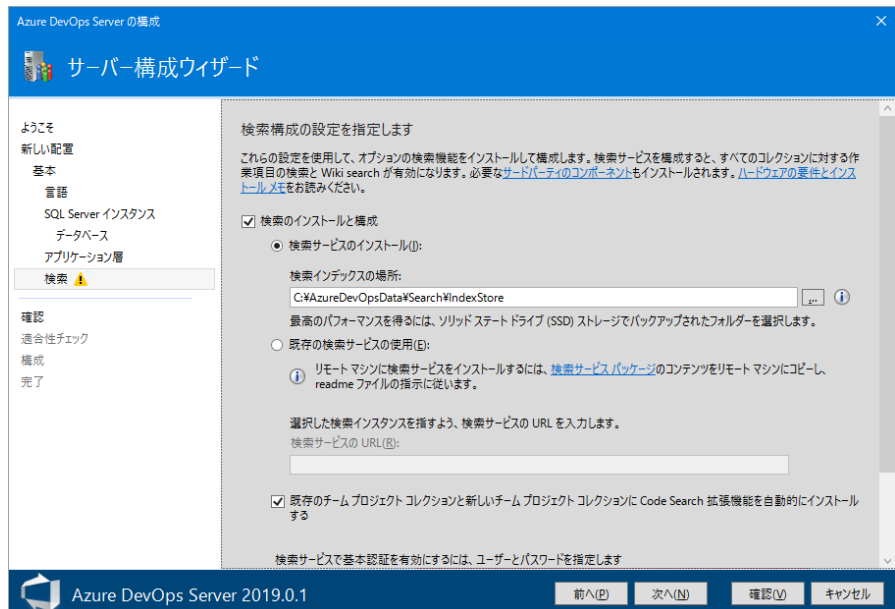
設定画面を閉じて、「次へ」をクリックします。

右の例では、仮想ディレクトリを tfs に設定。



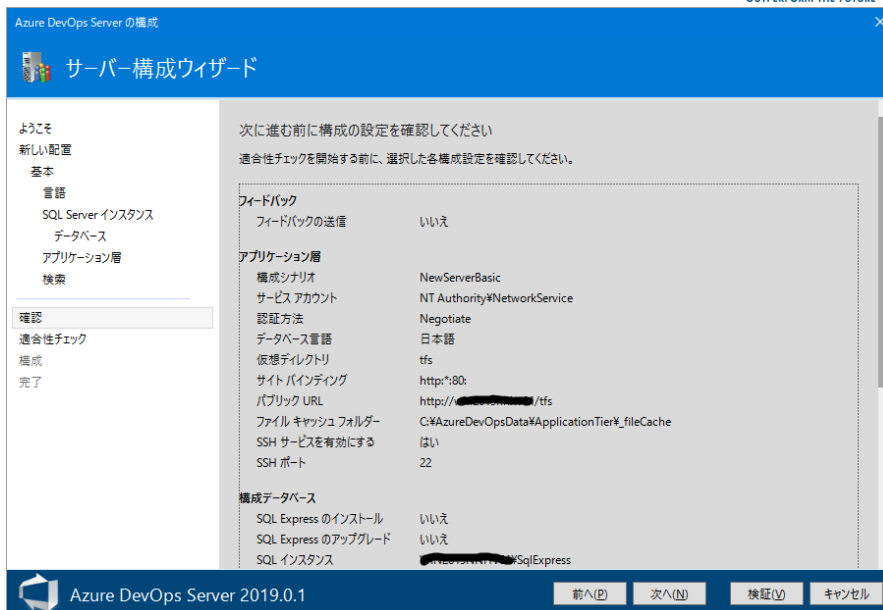
追加オプションの検索サービスの設定。必要に応じて選択し、「次へ」をクリックします。

※Magic xpa の開発では、必須の機能ではありません。

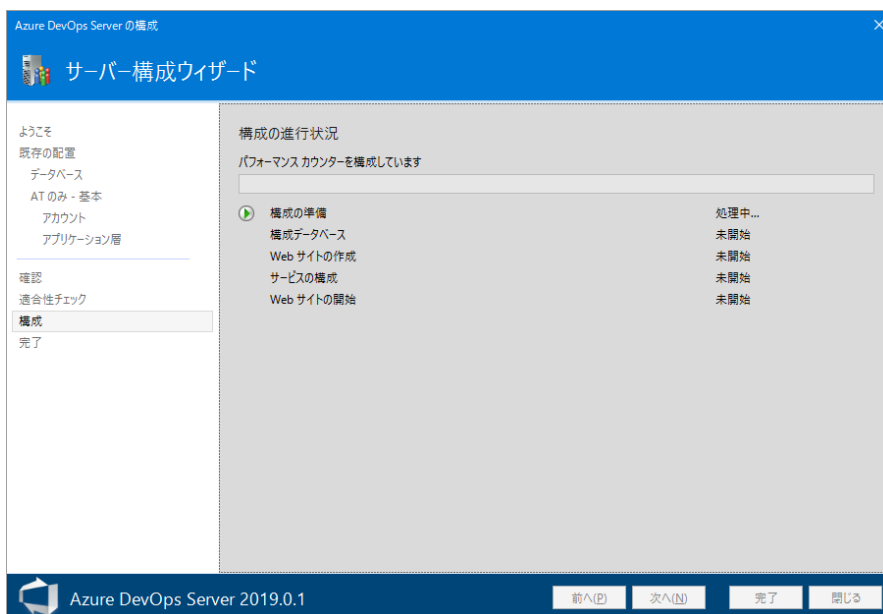




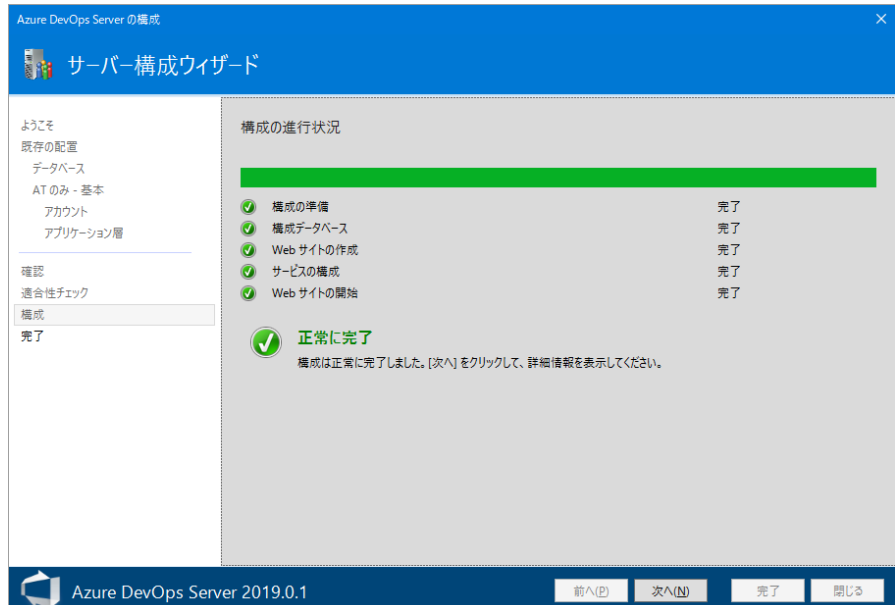
ウィザードで設定した項目を確認の上、「次へ」をクリックします。



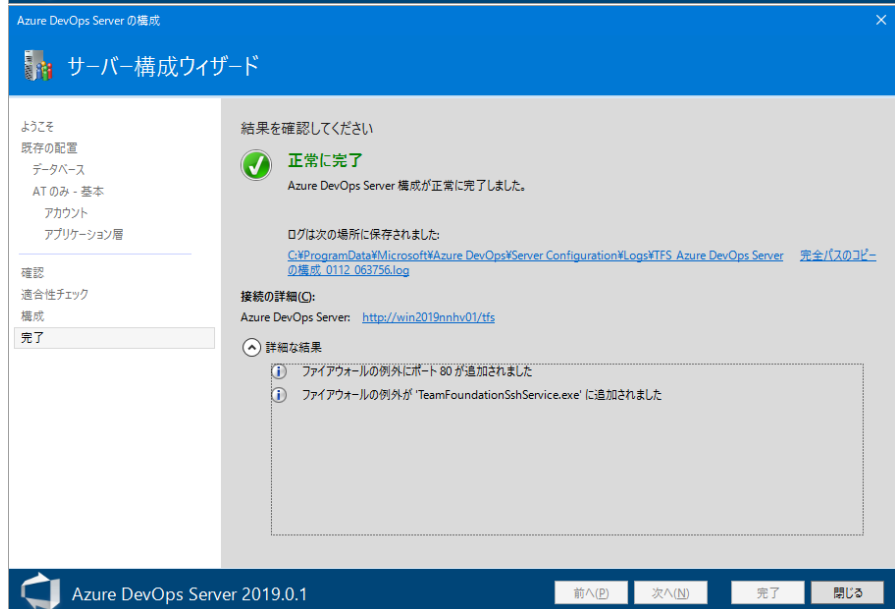
インストール可能かどうか、サーバ環境の適合性がチェックされた後、成功したことを確認の上、「構成」をクリックします。セットアップが実行されます。



正常にセットアップされたら、「次へ」をクリックします。



ログやコメントを確認の上、画面を閉じます。



### 3.4 DevOps チームプロジェクトの作成

DevOps のチームプロジェクトは、Team Explorer 2013 から作成できませんので、Web ブラウザから、DevOps の管理用 Web サイトにアクセスして行います。

Web ブラウザを起動して、先ほど設定した IIS の URL にアクセスします。

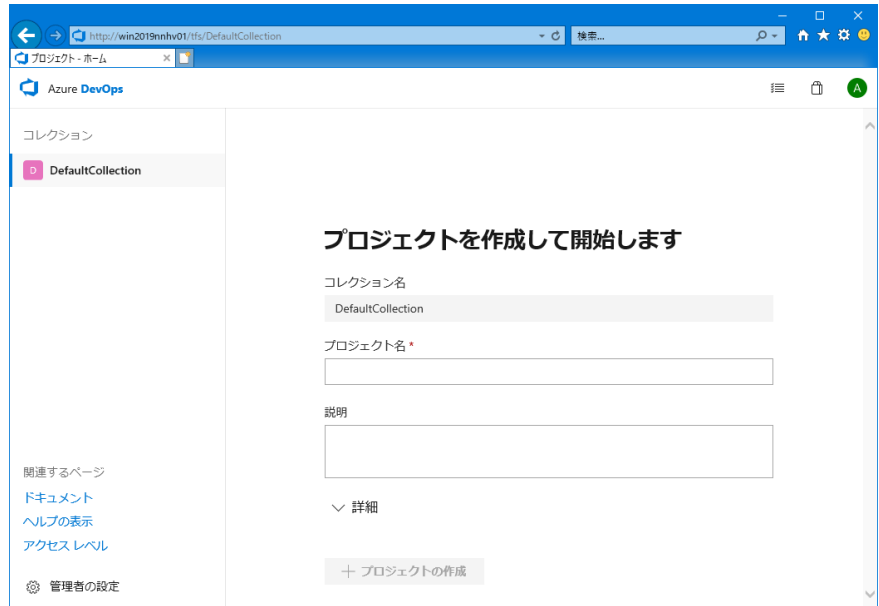
(例)

http://(Server)/tfs

(Server)は、DevOps をインストールしたサーバ名。

※クライアントマシンからアクセスできない場合、サーバのファイアウォールをチェックするか、インストールしたサーバから Sever 名を localhost に設定して実行します。

次のような画面が起動されます。



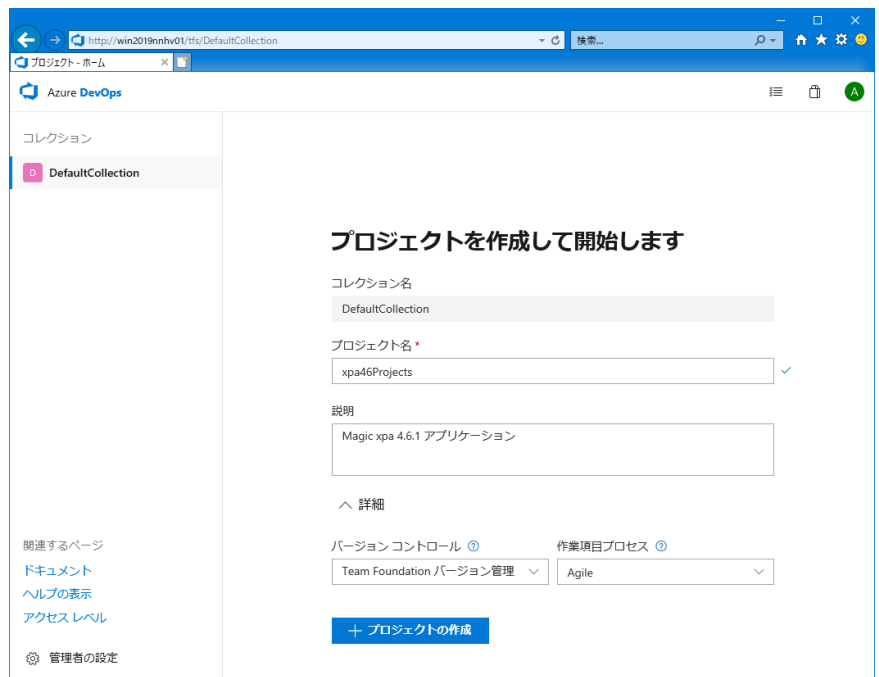
それぞれの項目を入力し、「プロジェクトの作成」を押下します。

プロジェクト名: 必須

説明: 任意

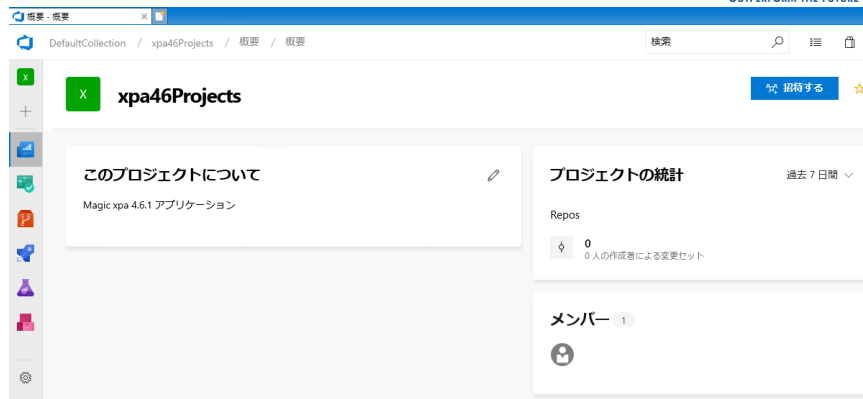
「詳細」をクリックして、次の設定。

バージョンコントロール: Team Foundation バージョン管理  
作業項目プロセス: (任意)  
(開発環境に合わせて選択しますが、通常はデフォルトの Agile で可。)

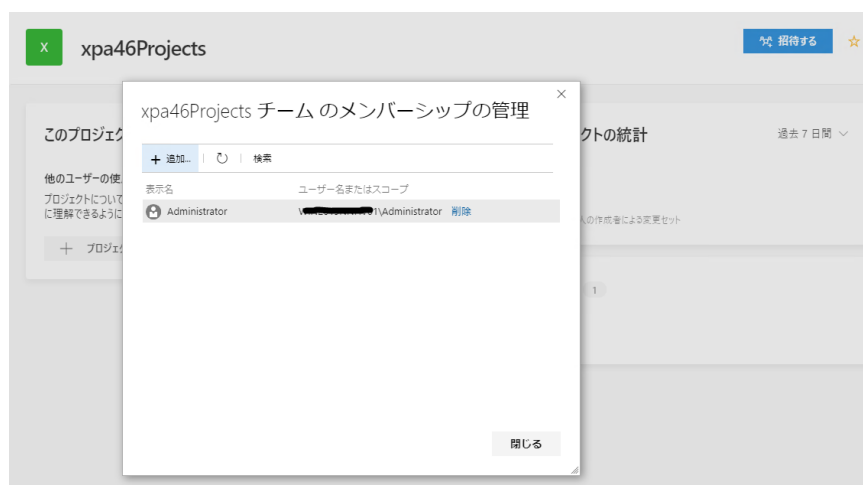


作成後に、次のような画面が表示されれば、正常に作成されています。

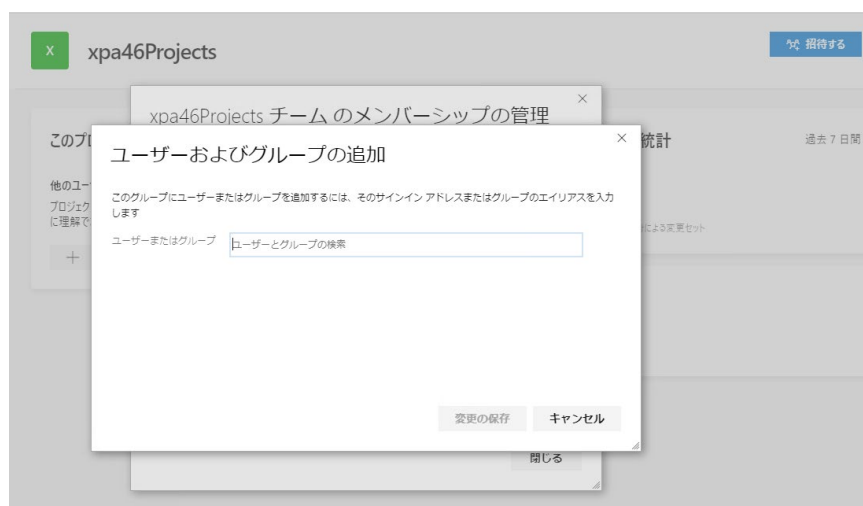
次に、DevOps のサーバにアクセス可能な開発ユーザを登録するため、右上の「招待する」をクリックします。



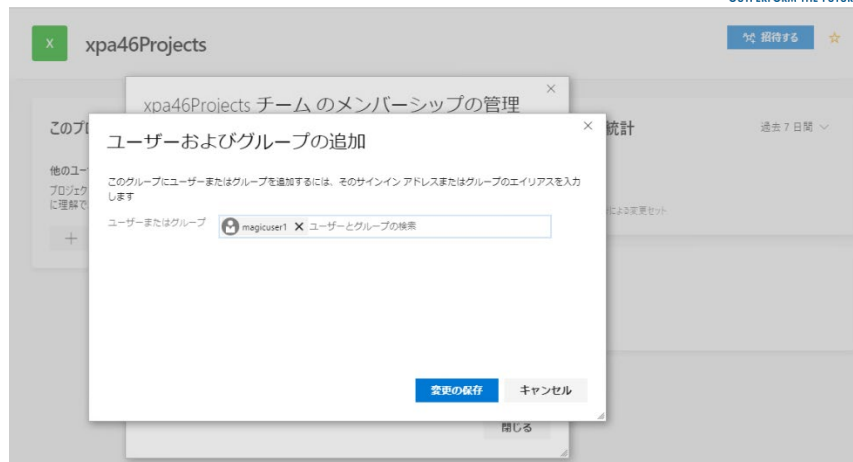
「…チームのメンバーシップの」管理」ダイアログで、「+追加」をクリックします。



「ユーザまたはグループ」でゆこうな Windows ユーザ、またはグループを入力します。



Enter キーで確定して「変更の保存」をクリックします。



登録されると、ホーム画面でメンバー数がカウントアップされています。



ブラウザを閉じて、DevOps サーバでの作業は終了です。

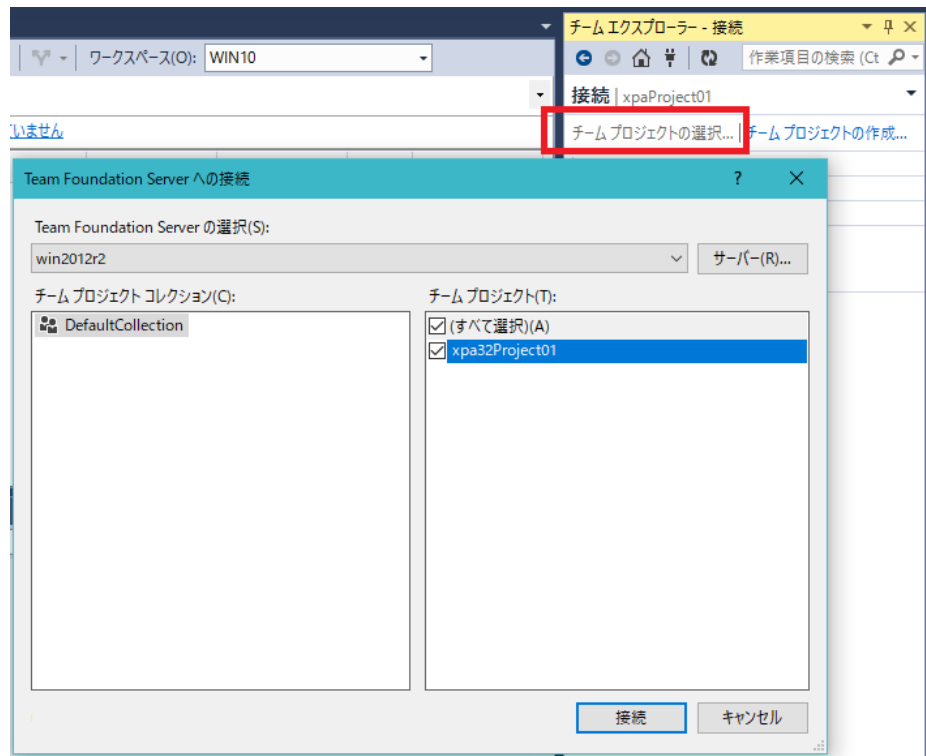
これで、DevOps のチームプロジェクトが作成されましたので、各クライアントマシンから Magic xpa のプロジェクトが作成できます。1 つの DevOps のチームプロジェクトの中に、複数の xpa のプロジェクトを作成できます。

次に、「4.クライアント側のインストール」を行ってから、チームプロジェクトの設定変更を行います。

## 4.2 クライアントから DevOps への接続

クライアントの Team Explorer から[チームエクスプローラ]→[チームプロジェクトの選択]をクリックします。

新しいダイアログで、[サーバ]から、セットアップした DevOps サーバを追加して選択すると、作成したチームプロジェクトが表示されます。



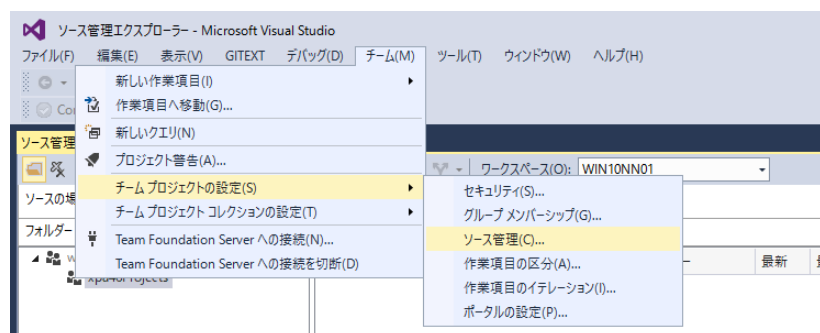
## 4.3 チームプロジェクトのチェックアウトの設定を変更

デフォルトの設定では、チェックアウト／チェックインを行うと次の問題が起こるため、チェックアウトの設定を変更します。

- ・ 複数のクライアントから同時に同じオブジェクトに対してチェックアウトできてしまうので、xpa から正常にチェックインできない。
- ・ チェックアウト時に、最新のソースが反映されていないことがある。

ソース管理エクスプローラを表示して、「3.4.3 チームプロジェクトの設定変更」の手順で、[チェックアウトの設定]を変更します。

チームエクスプローラのチームプロジェクトのメニューから、[チーム→チームプロジェクトの設定→ソース管理]を選択します。



「チェックアウトの設定」タブで、 [複数のチェックアウトを有効にする] のチェックを外します。

次に [チェックアウト時の最新バージョンの取得を有効にする] にチェックを入れます。

ソース管理の設定 - xpa46Projects

チェックアウトの設定 | チェックイン ポリシー | チェックイン メモ

複数のチェックアウトは、複数のユーザーがファイルを同時に編集できるようにします。競合する変更は、オプションは、ローカル ワークスペースで常に有効です。

複数のチェックアウトを有効にする(E)

チェックアウト時の最新バージョンの取得では、Team Foundation Server からクライアント コンピュータにダウンロードされます。Team Foundation Server のこの設定は、ローカル ワークスペース内の項目を除き、このチームに適用されません。

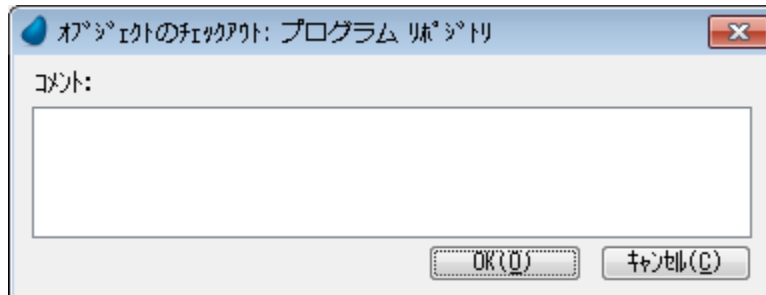
チェックアウト時の最新バージョンの取得を有効にする(G)

以上で、DevOps のチームプロジェクトの設定は完了です。

## 6.2.1 プログラムリポジトリ全体のチェックアウト

通常、プログラムの追加、削除、移動などを行う場合、個々のプログラムに対するチェックアウトの前に、プログラムリポジトリに対するチェックアウトは自動的に行われます。

例えば、F4 キーで新規プログラムを作成時に次のようなダイアログが出ます。



チェックインは自動で行われませんので、追加、削除、移動が完了した後は、チェックインを行う必要があります。(6.2.2 参照)



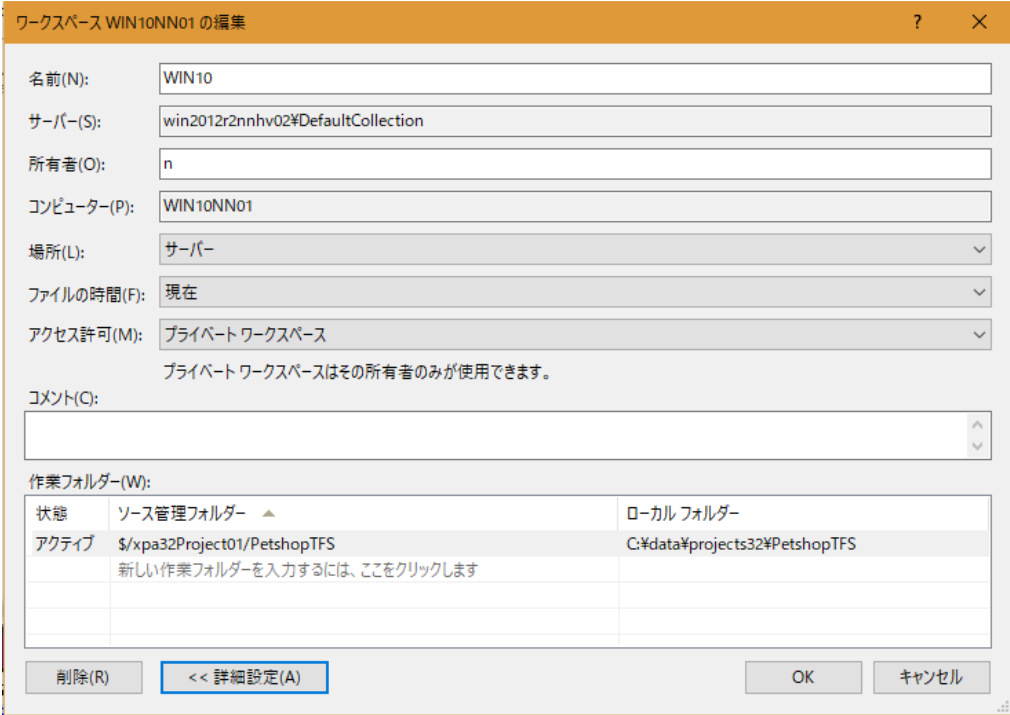
## 8. ワークスペースについて

ワークスペースは各クライアントで管理される DevOps のチームプロジェクト内のソースファイルのフォルダと、それに対応するクライアントのローカルフォルダ、およびサーバクライアントのどちらのワークスペースを有効にするかの情報等が保存されています。

ワークスペースは、Team Explorer から、[チームエクスプローラ]→[ソリューション]→ワークスペースの名前から右クリックメニューの[ワークスペースの管理]から、確認することができます。

「Magic xpa Studio でのバージョン管理は、ソース管理の設定で行ったように、複数のチェックアウトを有効にしないため、サーバのワークスペースで実行します。

したがって、xpa から作成されたワークスペースの編集画面の[場所]には「サーバ」が設定されます。」



ワークスペース WIN10NN01 の編集

名前(N): WIN10

サーバー(S): win2012r2nnhv02#DefaultCollection

所有者(O): n

コンピューター(P): WIN10NN01

場所(L): サーバー

ファイルの時間(F): 現在

アクセス許可(M): プライベートワークスペース

プライベートワークスペースはその所有者のみが使用できます。

コメント(C):

作業フォルダ(W):

状態	ソース管理フォルダ ▲	ローカルフォルダ
アクティブ	\$/xpa32Project01/PetshopTFS	C:%data#projects32#PetshopTFS
	新しい作業フォルダを入力するには、ここをクリックします	

削除(R) << 詳細設定(A) OK キャンセル

Magic xpa のプロジェクト作成時に、ワークスペースの情報は自動的に更新されますので、通常は編集することはありません。

例外的に、Team Explorer を介せずにプロジェクトの移動や削除をして、既に存在しないプロジェクトのデータが残っている場合は削除しても影響はありませんが、既存のプロジェクトのフォルダの情報を修正することは、ここでは行わないでください。

参考:

<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/ms181383.aspx>

<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/bb892960.aspx>

## 9. トラブルシューティング

### 9.1 クライアントから接続できない。

Team Explorer から接続できない場合、DevOps サーバのファイアウォールの設定を確認してください。

#### アプリに Windows ファイアウォール経由の通信を許可する

許可されたアプリおよびポートを追加、変更、または削除するには、[設定の変更] をクリックします。

アプリに通信を許可する危険性の詳細

設定の変更(N)

許可されたアプリおよび機能(A):			
名前	プライベート	パブリック	↑
<input type="checkbox"/> Netlogon サービス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> Secure Socket トネリング プロトコル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> SMBDirect でのファイルとプリンターの共有	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> SNMP Trap	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	≡
<input checked="" type="checkbox"/> SQL Server 2012 UDP	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> SQL Server2012 TCPport	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> Team Foundation Server: TeamFoundationSshService	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> Team Foundation Server:8080	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> TPM 仮想スマートカード管理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> uniPaaS19 MRB 5315	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input checked="" type="checkbox"/> uniPaaS19 RemoteDebugger 5555	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/> uniPaaS19 runtime	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	↓

詳細(L)...    削除(M)

### 9.2 「サーバから開く」処理で、クライアントにプロジェクトを作成する際、エラーが発生する。

デフォルトで設定されたローカルフォルダの指定が不正な場合に発生します。

以下のサイトを参考にして、プロジェクトの作成時にフォルダ名を変更してください。

<https://esupp.magicsoftware.co.jp/QCJSys/qcj.req?arguments=-A2002826.300>

### 9.3 プログラムリポジトリに「プログラムソースが見つかりません。」の行がある。

プログラムリポジトリ全体の同期を取ったときに、「プログラムの最新バージョンを取得」のチェックを行わなかったために、プログラム番号に対応するプログラムファイルが存在しない場合に発生します。

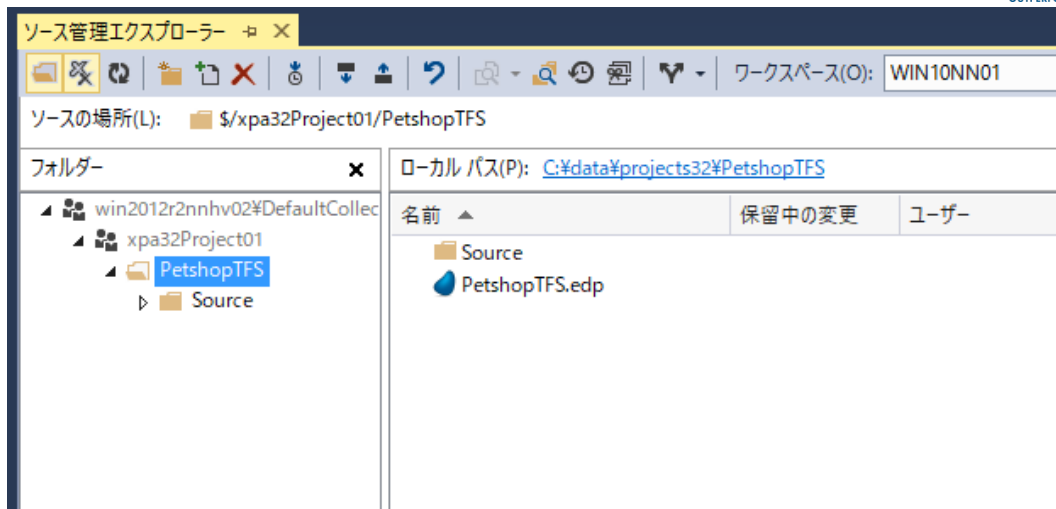
この場合、ツールバーの「選択したオブジェクトの最新バージョンを取得します」をクリックするか、複数のプログラム番号で、その記述がある場合には、プルダウンメニューから[バージョン管理]→[最新プロジェクトの取得]を行います。

### 9.4 クライアントのプロジェクトフォルダを移動すると、DevOps サーバと正しくバージョン管理できなくなる。

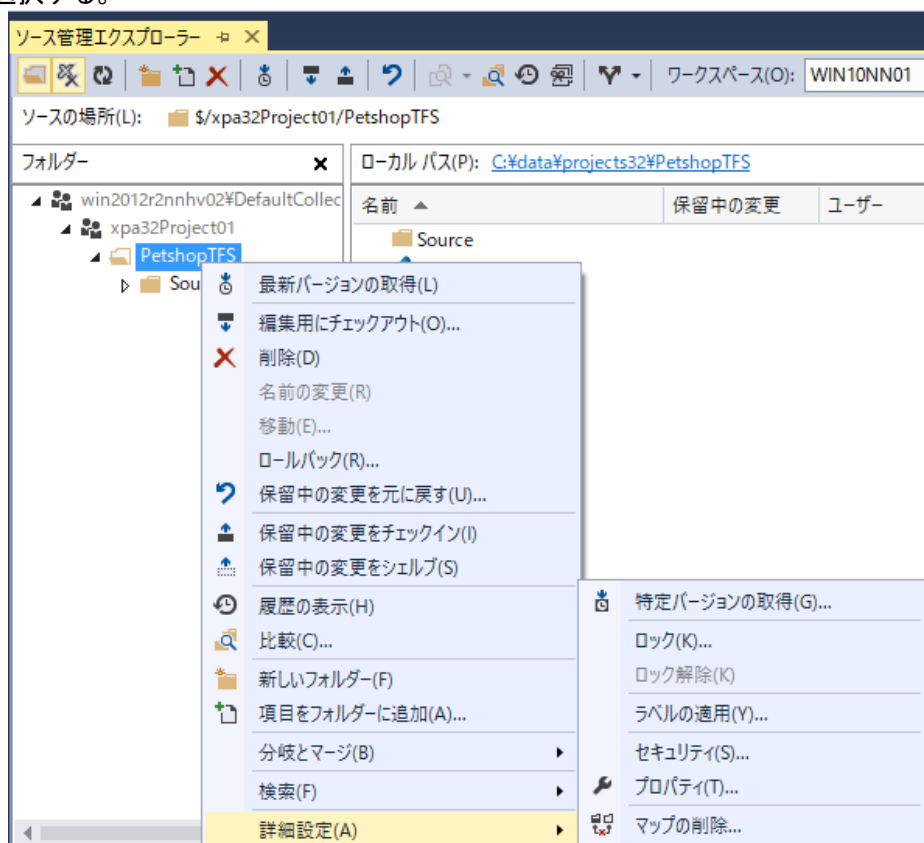
DevOps の管理されたプロジェクトに対して、Windows のエクスプローラ等でフォルダの移動やリネームを行うと、DevOps のプロジェクトと正しく同期がとれなくなります。

プロジェクトフォルダの移動を行う場合には、Team Explorer から行うことができます。

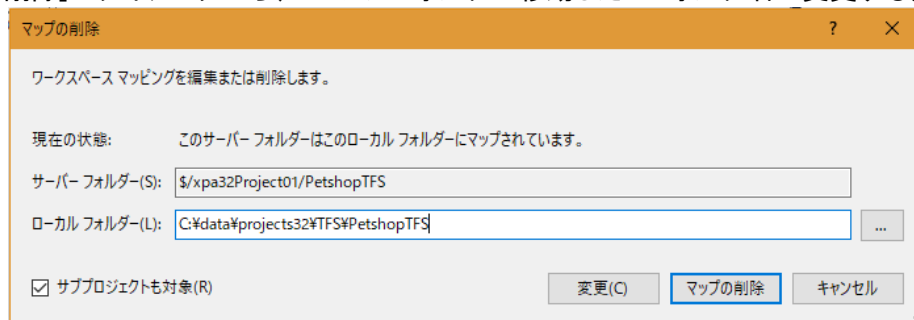
1. Magic xpa Studio で開発中のプロジェクトをクローズする。
2. Team Explorer を起動して、ソース管理エクスプローラを開く。



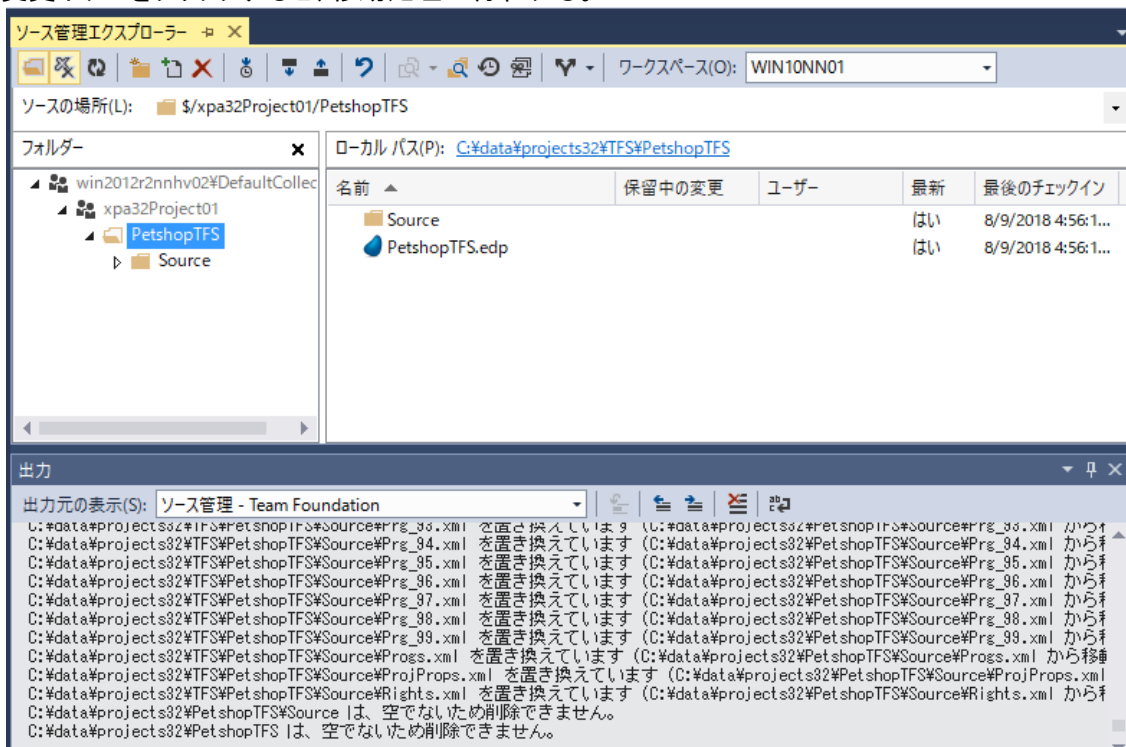
3. 左側の「フォルダー」ペインのプロジェクト名を選択して、右クリックメニューから、[詳細設定]→[マップの削除]を選択する。



4. [マップの削除]のダイアログから、ローカルフォルダに移動したいフォルダ名に変更する。



5. 変更ボタンをクリックすると、移動処理が行われる。



6. Magic xpa Studio で移動したプロジェクトを開いて動作を確認の上、移動前のフォルダを削除する。

9.5 「プロジェクトの除外」を行ったプロジェクトに対して、Team Explorer からプロジェクトフォルダを削除すると、クライアント上の物理的なプロジェクトも削除される。

「プロジェクトの除外」は、Magic xpa Studio 中の DevOps のプロジェクトの管理情報が削除されますが、Team Explorer には、プロジェクトの管理情報は残っています。

クライアントのプロジェクトを残して、DevOps のチームプロジェクトから削除したい場合、一旦、クライアントのプロジェクトを別のフォルダにコピーしてから、Team Explorer で、プロジェクトフォルダを削除およびチェックインします。

以上